

広域観光テーマルートの設定

東濃西部圏域の将来像を定めた第4次広域圏計画（計画期間：平成13年度～平成22年度）において、「広域観光ルートの確立を図り、ネットワーク化を推進します。」と計画しており、平成14年度に「東濃西部産業観光テーマルート・サインシステム実施計画」を策定し、観光テーマルートを設定しました。

その後、3市1町の合併協議等で実施が見送られていましたが、平成21年度から、広域観光テーマルートを活用し、案内看板を設置することとしました。

このテーマルートでは、3市圏域の環状ルート（セラミック廻道）を核としながら、地域の外周に点在する歴史・自然等の観光施設へのネットワークを形成する、次の4つのテーマルートを設定しました

美濃焼を廻るみち『セラミック廻道』（3市を結ぶみち）

3市をつなぐ環状ルートで、国道19号や主要地方道上にルートを形成し、高速道路ICとも連結させ、広域からの観光客を迎え入れるメインルートです。

ルート沿いには東濃西部地域の中核観光施設となる「セラミックパークMINO」の他、各地の代表的なやきもの関連施設を結ぶことから、美濃焼を廻る“みち”として位置づけました。

セラミック廻道の外周にある「悠久のみち」「憩いのみち」「手づくりのみち」とつなぎ、観光ネットワークの中心的なルートとしています。

歴史を訪ねる「悠久のみち」

土岐市内の国道19号から国道21号を經由し瑞浪市内の旧中山道を走るルートです。

ルート沿いには「鬼岩公園」、「細久手宿・大湫宿」や「琵琶峠」などが点在しており、悠久の時間の中で生まれた自然景観や旧中山道の歴史スポットを訪ねる“みち”として位置づけています。

自然とふれあう「憩いのみち」

多治見市笠原町南部から主要地方道豊田多治見線を土岐市方面に走り、次いで国道363号を走り瑞浪市内の国道419号に交差するまでのルートです。

ルート沿いには「かさばら潮見の森」、「三国山キャンプ場」などが点在しており、豊かな自然環境の中で集い憩う“みち”として位置づけています。

大きなやきものに出会う「手づくりのみち」

瑞浪市北東部から国道19号を南西に向かい、次いで主要地方道瑞浪大野瀬線を南に走り国道363号に交差するまでのルートです。

ルート沿いには地元住民の協力のもとにつくられた「ドラゴン21」や世界一大きな「大皿・茶つぼ・こま犬」などが点在しており、大きなやきものに出会うことで地元住民の心意気や熱意に触れる“みち”として位置づけています。